

**JASDAQ**

2021年12月14日

各 位

会 社 名 株式会社ありがとうサービス
代表者名 代表取締役社長 井本 雅之
(JASDAQ・コード 3177)
問合せ先 取締役管理本部長 志岐 雄一
電話番号 0898-23-2243

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。

当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、「流通株式時価総額」について上場維持基準を充たしておりません。当社は「流通株式時価総額」に関し、2022年度中の適合を目標に上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

基準項目	スタンダード市場上場基準	一次判定数値 (2021年6月30日時点)	適合状況
株主数	400人以上	1,072人	○
流通株式数	2,000単位以上	3,883単位	○
流通株式時価総額	1,000,000,000円以上	741,529,863円	×
流通株式比率	25.0%以上	40.7%	○

<ご参考 2021年11月30日時点での当社試算における適合状況>

基準項目	当社試算数値 (2021年11月30日時点)	適合状況
株主数	1,204人	○
流通株式数	4,540単位	○
流通株式時価総額	※ 908,899,955円	×
流通株式比率	47.6%	○

※流通株式時価総額は、2021年9月1日から2021年11月30日までの3か月平均株価(2,001円)で計算しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

現時点で上場維持基準を充たしていない項目である「流通株式時価総額」の適合に向けましては、【流通株式数の増加】と【時価総額の維持と向上】を基本方針とし、以下の達成に向けた取り組みを行ってまいります。

(2) 課題及び取組内容

(課題)

流通株式数の比率は上場維持基準を充たしておりますが、更なる向上に向けた取り組みが必要と考えます。また、時価総額の維持と向上のためには、株式市場で適正な評価を得ることが課題と捉えております。

(取組内容)

①固定株の流動化による流通株式数の増加

2021年7月に、当社の代表取締役社長井本雅之が保有株式を一部売却し、また当社の政策保有株主（金融機関グループ）の政策保有株式につきましても、市場での売却を要請した結果、流通株式は2021年11月30日時点において、一次判定の移行基準時点から657単位（65,729株）増加しております。

これにより、流通株式時価総額は※131,579,598円増加しております。

※流通株式時価総額は、2021年9月1日から2021年11月30日までの3か月平均株価（2,001円）で計算しております。

依然として「流通株式時価総額」について上場維持基準を充たしておらず、今後も当社の政策保有株主である事業法人に対し、その保有株式について市場での一部売却の要請を継続して行っております。

さらに、状況に応じて自己株式の処分を行うなど、流通株式数のさらなる増加に資する施策を検討・実行してまいります。

②株主還元の充実による時価総額の維持と向上

当社は、PBRを1.0倍以上とすることが「流通株式時価総額」の上場維持基準項目への適合に資すると判断しております。

このため、2022年度中にPBR1.0倍を達成することを目標とし、当該目標を達成するために株価の向上を図ってまいります。

当社では経営成績に応じた株主への利益還元を継続的に行うことが株価の向上に資すると考えており、45%以上の配当性向を目標とすることで株主還元の充実を図ります。

2023年2月期以降、リユース事業におきましては九州エリアでの出店余地が十分にあることから、当該エリアでの新規出店に注力することで、2022年2月期以上の業績を目指し、株主還元の充実を実現し、時価総額の維持・向上に努めてまいります。

<ご参考 PBR1.0倍達成時における2022年2月期末「流通株式時価総額」の当社試算>

PBR1.0倍達成時における流通株式時価総額			
一株当たり純資産 (公表済2022年2月 期業績予想に基づく 配当考慮後の数値)	2,272円	流通株式時価総額 (2021年11月30日 時点の流通株式数 454,030株による試 算)	1,031,556,160円

当社は、上記2項目の基本方針に基づく取組により、企業価値の向上・株価の安定化と向上を図るとともに、数値目標を達成できるよう全力を注いでまいります。これにより、当社株式の流通時価総額につきまして、株式会社東京証券取引所の定める上場維持基準を上回ることであり、新市場区分である東京証券取引所スタンダード市場における上場を維持するように努力してまいります所存であります。

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上